

## 介護支援専門員研修に関するQ&A（平成31年3月1日作成）

### Q1：実務従事者と実務経験者の違いについて

介護支援専門員研修には、実務従事者を対象とした研修と実務経験者を対象とした研修があります。実務従事者と実務経験者の違いは以下のとおりです。

実務従事者；現に、介護支援専門員としての業務に従事している者

実務経験者；①から③のいずれかの者

①現に、介護支援専門員としての業務に従事している者

②介護支援専門員証の有効期間内に介護支援専門員としてサービス計画の作成を行った経験がある者

③指定居宅介護支援事業所の管理者

<参考>

研修名	対象者
専門研修課程Ⅰ、専門研修課程Ⅱ	実務従事者
更新研修A	実務未経験者
更新研修B 1、更新研修B 2	実務経験者
主任介護支援専門員、主任介護支援専門員更新研修	実務従事者

### Q2：専門研修と更新研修の違いについて

専門研修と更新研修は、研修目的や受講できる対象者が異なります。研修目的等を理解した上で、ご自身に適した研修を受講するようにしてください。

研修名	目的	対象者
更新研修	更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な専門知識及び技術の修得を図り、専門職としての能力の保持・向上を図る。 → 介護支援専門員証の更新のための研修	介護支援専門員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者
専門研修	一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図る。 → 介護支援専門員の自己研鑽のための研修	介護支援専門員の実務に従事し、専門研修課程Ⅰは就業後6か月以上の者、専門研修課程Ⅱは専門研修課程Ⅰを修了している就業後3年以上の者

